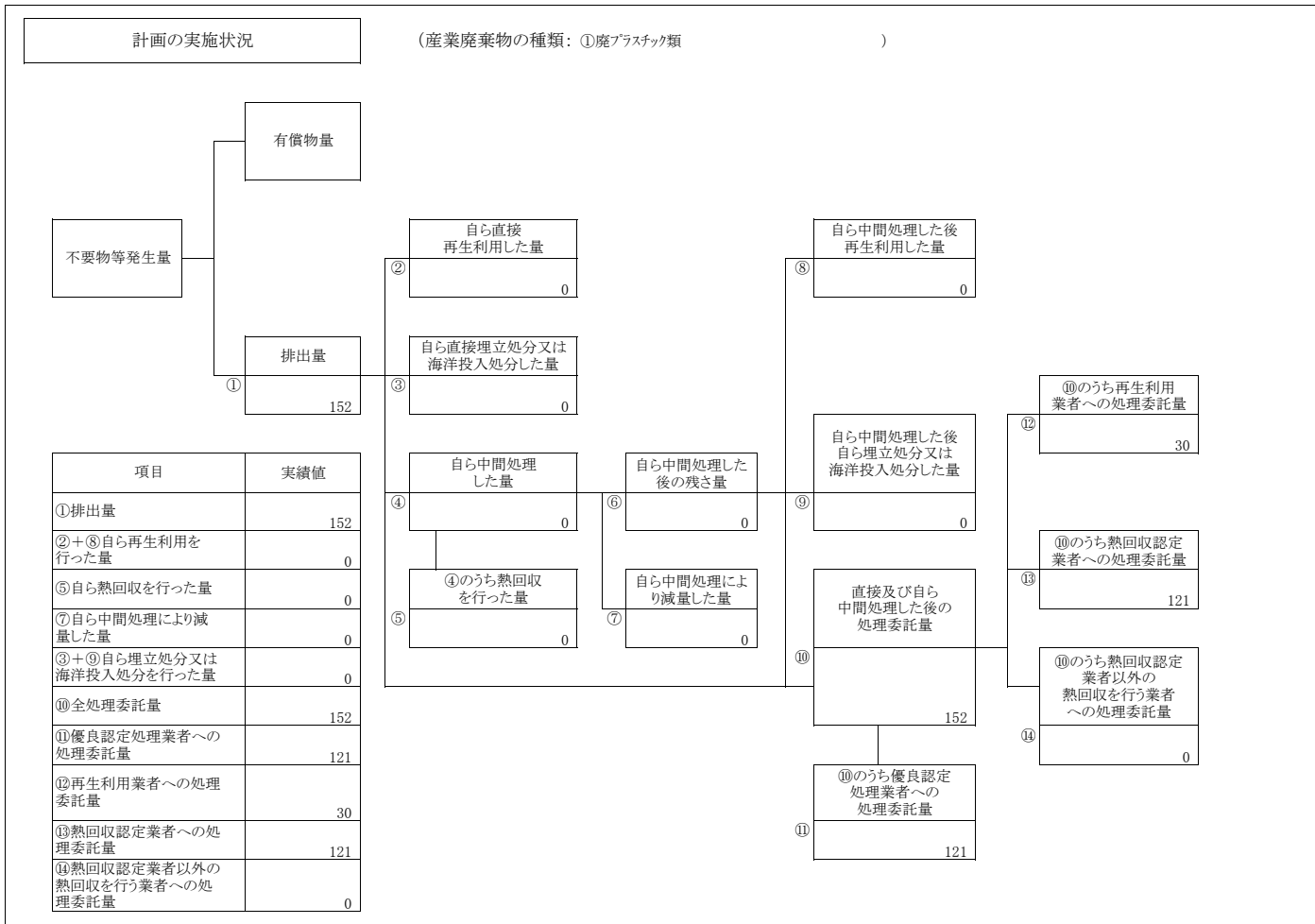


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年 6月12日			
堺市長 殿			
提出者			
住 所 堺市西区築港新町2-13			
氏 名 ライオン株式会社 大阪工場			
工場長 野洲 久義			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 072-241-8831			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	ライオン株式会社 大阪工場		
事業場の所在地	堺市西区築港新町2-13		
事業の種類	16:化学工業		
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	994t	全処理委託量	994t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	966t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	25t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	966t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③排水汚泥)

不要物等発生量

有償物量

①

排出量

18

②

自ら直接再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④

自ら中間処理した量

0

④のうち熱回収を行った量

⑤

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理により減量した量

0

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

18

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

18

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

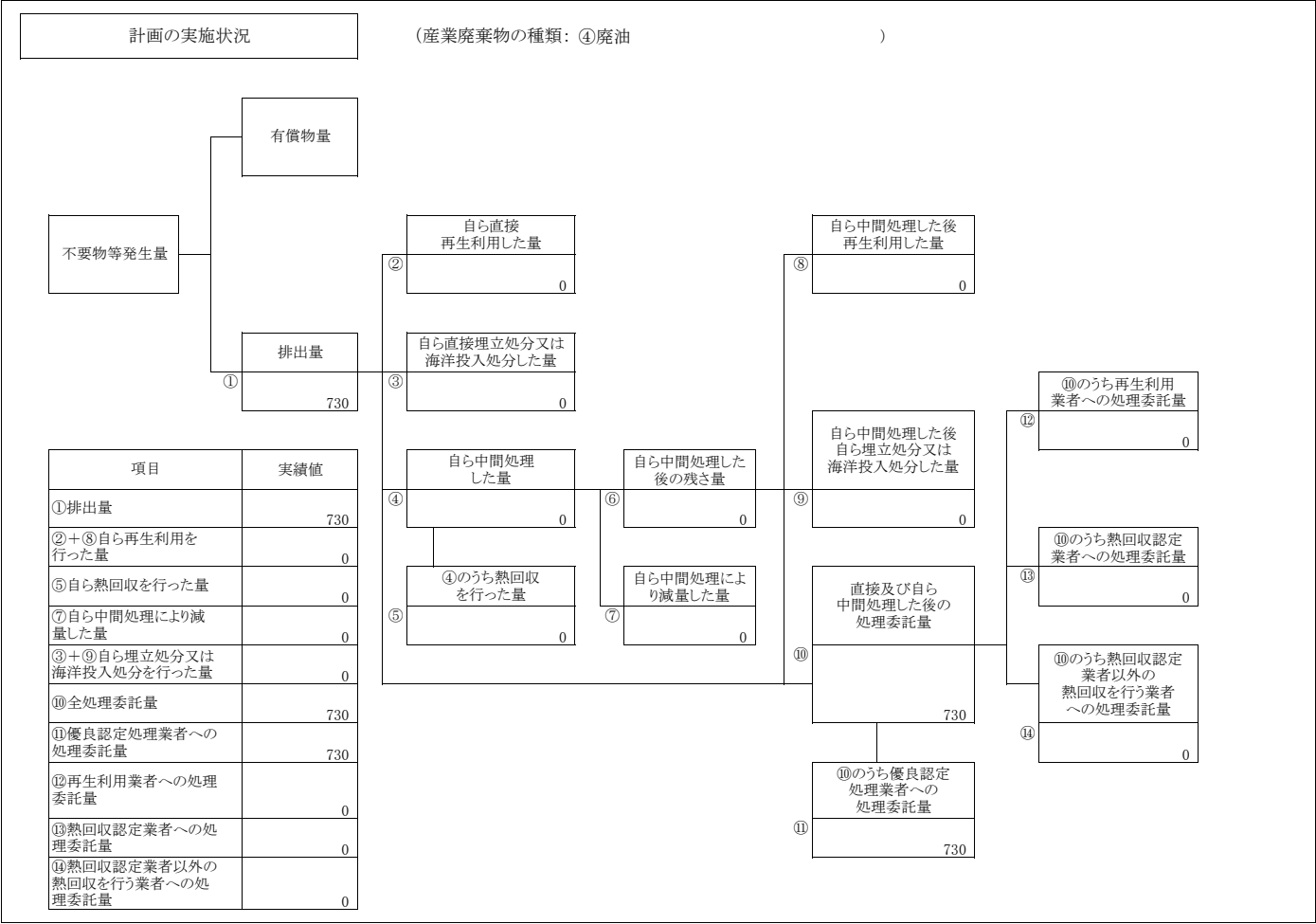
0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

0

項目	実績値
①排出量	18
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：⑥廃酸)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①5

②

自ら直接再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④

自ら中間処理した量

0

⑤

④のうち熱回収を行った量

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理により減量した量

0

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

5

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

5

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦廃アルカリ)

不要物等発生量

有償物量

①排出量

32

②自ら直接再生利用した量

0

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④自ら中間処理した量

0

④のうち熱回収を行った量

0

⑥自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦自ら中間処理により減量した量

0

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

32

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

32

⑪⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	32
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	32
⑪優良認定処理業者への処理委託量	32
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：⑧水銀灯)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①0.07

②

自ら直接再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④

自ら中間処理した量

0

⑤

④のうち熱回収を行った量

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理により減量した量

0

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

0.07

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0.07

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

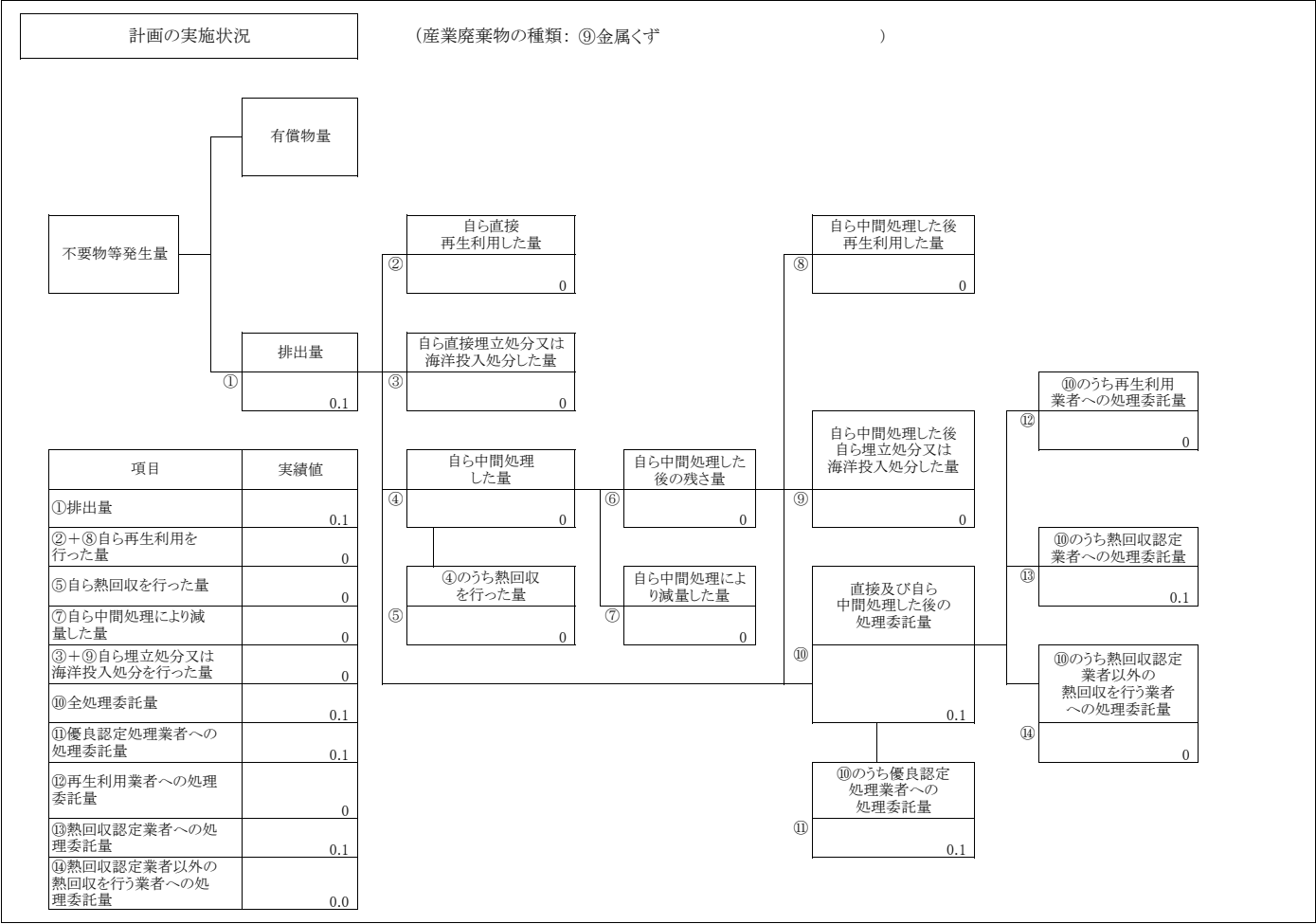
0

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	0.07
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.07
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.07
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の【別紙】

送 出 先						
住 所	名 称	担当部署	担当者の氏名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を継続的に管理する又は廃棄する事業場の名称	産業廃棄物を排出する事業場を継続的に管理する又は廃棄する事業場の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市西区長瀬町2-13	ライオン株式会社 大阪工場	工場管理グループ				

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										(※＝①-②-③-④+⑤-⑥-⑦-⑧＝⑨+⑩+⑪+⑫)								⑭+⑮	⑯+⑰
		①排出量	②自ら直接再々利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量①	④自ら中間処理した量	⑤⑤のうち、中間処理を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理した廃棄物の利用により減量した量	⑧自ら中間処理した廃棄物の再投入処分した量①	⑨直接及び自ら自己処理した量の再投入処分した量	⑩再々利用事業者への処理委託量①	⑪再々利用事業者への処理委託量①	⑫再々利用事業者以外の施設収受業者への処理委託量①	⑬その他の中間処理委託量①	⑭再々利用事業者への処理委託量①	⑮再々利用事業者への処理委託量①					
コード	名 称	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰			
産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず再々利用から再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量			
600	① 廃プラスチック類	152								152	30	121					121	0			
200	② 汚泥	46								46		17	29				46	0			
210	③ 排水汚泥	18								18			18				18	0			
300	④ 廃油	730								730			730				730	0			
800	⑤ 木くず	2								2		2					2	0			
400	⑥ 炭酸	5								5			5				5	0			
500	⑦ 廃アルカリ	32								32			32				32	0			
2522	⑧ 水銀灯	0.07								0.07			0.07				0.07	0			
3500	⑨ 金属くず	0.1								0.1		0.1					0.1	0			
⑩																	0	0			
⑪																	0	0			
⑫																	0	0			
⑬																	0	0			
⑭																	0	0			
⑮																	0	0			
⑯																	0	0			
⑰																	0	0			
⑱																	0	0			
⑲																	0	0			
⑳																	0	0			
合計		988	0	0	0	0	0	0	0	988	30	141	0	814	0	958	0	0			

(注1)トン単位の単位として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。